

4年間の学びとカリキュラム

医療科学部 理学療法学科	<h2>1年次</h2> <p>理学療法士としての医学的専門基礎知識を築く</p> <p>理学療法の歴史・治療・研究の概要や人体の構造と機能など医学的専門基礎知識を身につけ、理学療法士として必要な豊かな人間性や教養も身につけます。</p> <p>Point 見学実習</p> <p>1年次の早期臨床体験学習は、人との交流を通して相手の立場に立って考え、コミュニケーション能力を培う機会としています。見学を通して施設の概要、施設における理学療法の役割・位置づけを学びます。</p>	<h2>2年次</h2> <p>演習、実験を通して技術を高める</p> <p>理学療法実践のための臨床医学や基本的な知識と技術を学びます。</p> <p>Point 理学療法治療学特論(健康増進・予防)</p> <p>年齢を重ねる中で、生活(ライフステージ)変化に伴う身体機能の変化を呼吸・循環・代謝という内部機能の面からとらえ、健康で生き生きと過ごすための食(栄養)と運動の関連性を学びます。この学びは、予防理学療法に通じるものであり、病気の予防や健康管理の在り方について学びます。</p>	<h2>3年次</h2> <p>学外実習を通じて、実践力を磨く</p> <p>各領域の治療学を学び、理学療法と多職種連携の在り方や理学療法プログラムの立案を行うなど専門職としての実践力を養います。</p> <p>Point 総合臨床実習</p> <p>実際の診療に参加し、病態により必要とされる検査や問題点に対し、理学療法プログラムの立案を行います。実施した内容を記録し報告する、一連の学びを通じて専門職としての知識と技術を養い、実践力を身につけます。</p>	<h2>4年次</h2> <p>科学的根拠に基づいた思考を形成し、国家試験に向けて4年間を総括</p> <p>臨床能力を培い、これまでの学びの総まとめとして卒業研究を進めると同時に、理学療法士国家試験に向けての学習を徹底して行います。</p> <p>Point 地域理学療法臨床実習</p> <p>退院後、または在宅生活をしている対象者の社会生活の持続を支援することを学びます。地域のリハビリテーション体制を確認するとともに多職種連携のもと、包括的なリハビリテーション支援について通所または訪問リハビリテーションでの理学療法を体験する実習です。地域における対象者の生活支援のためのアセスメントや具体的支援のための方策について、対象者を取り巻く多様な課題に関心をもち、理学療法の面からの援助方法の実際や他職種との連携を生活者支援の視点から学びます。</p>
-----------------	--	---	---	--

基礎関連学科 (医療科学部共通科目)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎生物学 ■ 情報処理概論 ■ 基礎統計処理 ■ 口腔健康管理学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライフステージ栄養学I 	
理学療法学科 基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎ゼミナール 	<ul style="list-style-type: none"> ■ リハビリテーション医学 ■ 教育学 	
専門基礎分野科目	<p>[人体の構造と機能及び心身の発達]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 解剖学I・II ■ 生理学I・II ■ 人間発達学 ■ 基礎運動学 ■ 臨床心理学 <p>[疫病と障がいの成り立ち及び回復過程の促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 臨床医学概論 ■ 病理・感染学 <p>[保健医療福祉とリハビリテーションの理念]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ リハビリテーション概論 ■ 生命倫理学 	<p>[人体の構造と機能及び心身の発達]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 解剖学実習 ■ 生理学実習 ■ 基礎運動学演習 <p>[疫病と障がいの成り立ち及び回復過程の促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整形外科学 ■ 神経内科学 ■ 老年医学 ■ 精神医学 ■ 内科学 ■ 小児科学 <p>[保健医療福祉とリハビリテーションの理念]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆衛生学 	
理学療法 専門部門科目	<p>[基礎理学療法学] ■ 理学療法学概論</p> <p>[理学療法治療学] ■ 日常生活活動学 授業Pick up ①</p> <p>[臨床実習] ■ 見学実習</p>	<p>[基礎理学療法学] ■ 機能障害病態論</p> <p>[理学療法評価学] ■ 理学療法評価学</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運動器障害理学療法評価学演習 授業Pick up ③ ■ 神経障害理学療法評価学演習 ■ 内部障害理学療法評価学演習 授業Pick up ④ ■ 理学療法動作分析学演習 <p>[理学療法治療学] ■ 基礎運動療法学 授業Pick up ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 老年期障害理学療法学 ■ 義肢装具学 ■ 物理療法学 ■ 物理療法学演習 ■ 理学療法治療学特論I(健康増進・予防) ■ 理学療法治療学特論II(中枢神経障害) <p>[地域理学療法学] ■ 地域理学療法学 ■ 地域理学療法学演習</p> <p>[臨床実習] ■ 理学療法評価学実習</p>	<p>[緩和ケア論]</p> <p>[災害看護論]</p> <p>■ 健康増進とリハビリテーション</p> <p>■ 女性の健康</p> <p>[疫病と障がいの成り立ち及び回復過程の促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 臨床検査診断概論 ■ 臨床栄養学I ■ 災害医療 <p>[保健医療福祉とリハビリテーションの理念]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チーム医療連携論 ■ 保健医療福祉制度 <p>[基礎理学療法学] ■ 理学療法学研究法 ■ 理学療法学研究法演習</p> <p>[理学療法管理学] ■ 理学療法管理学</p> <p>[理学療法評価学] ■ 理学療法評価学総合演習I</p> <p>[理学療法治療学]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運動器障害理学療法学 ■ 運動器障害理学療法学演習 ■ 神経筋障害理学療法学 ■ 神経筋障害理学療法学演習 ■ 内部障害理学療法学 ■ 内部障害理学療法学演習 ■ スポーツ障害理学療法学 授業Pick up ⑤ ■ 発達障害理学療法学演習 ■ 義肢装具学演習 ■ 理学療法治療学特論III(内部障害) ■ 理学療法治療学特論IV(脳機能) <p>[臨床実習] ■ 総合臨床実習I</p>



臨床現場で活躍する理学療法士の様子

授業Pick up

① 日常生活活動学

対象者への理解を深め、提案できる力を養います。

対象者の日常生活活動や生活関連動作について分析・理解し、問題解決のための動作方法の指導ができ、さらに住環境整備等の提案ができるように体系的に学びます。

② 基礎運動療法学

理学療法の中心となる運動療法の基本知識を学びます。

理学療法の基本的な手技となる関節の動きの改善、筋力低下、持久力低下、バランス低下や起居移動に関する運動療法の方法についての知識・技術を身につけます。

③ 運動器障害理学療法評価学演習

筋・骨格系の異常によって引き起こされる機能障害を評価する方法を修得します。

筋力や関節可動域、身体全体および各部の大きさや長さを計測する形態測定、姿勢・アライメント測定等について学びます。測定結果から病態や障害像を理解し、対象者の問題解決に向けた仮説を立てる過程を学びます。

④ 内部障害理学療法評価学演習

リスク管理のあり方と安全で効果的な運動の方法を修得します。

代表的な内部疾患である慢性呼吸器疾患、心筋梗塞・心不全、糖尿病・メタボリック症候群の病態、急性期・維持期における治療、リスク管理、運動の方法、日常生活指導などについて、安全で効果的な運動のあり方を学びます。

⑤ スポーツ障害理学療法学

スポーツ障害や障害予防に関する知識や技術を身につけます。

スポーツ障害に携わる理学療法士にとって基礎となる各関節の機能解剖やバイオメカニクスに関する知識、競技特性と発生しやすい障害、また運動中の障害予防の観点から運動や環境要因、栄養学についても学びます。

教員紹介

- 石田 和人教授 / 神経系・基礎理学療法学
- 小野塚 實教授 / 神経生理学
- 山本 利春教授 / 神経科学
- 松井 一久准教授 / 徒手療法・スポーツ障害
- 加藤 芳司講師 / 健康増進・地域理学療法
- 玉木 徹講師 / 電気生理学
- 内藤 紘一講師 / 心臓リハビリテーション学
- 渡邊 潤子講師 / 理学療法学(神経系・管理)
- 額 真之助助手 / 脳神経解剖の基礎研究